



ボランティアセンター
ごとう登録者数

- ・個人： 52名
- ・団体： 34団体 / 492名
- 合計： 544名
- (令和元年11月22日現在)

こんにちは！「ボランティアセンターごとう」です。
ボランティア情報誌第40号をお届けします。
5月から新元号「令和」となり、令和最初の年末年始がすぐ
そこまで来ています。
これから、公私何かと忙しく、寒さも一層厳しくなります。
体調管理には十分留意され、お健やかに新年をお迎えください。

初心に帰ってみませんか！？ボランティアのエチケット

1. 信頼関係が大事。約束は必ず守りましょう。

どんな小さなことでも相手との約束は果たしましょう。万一都合が悪くなったときは、事前に先方へ連絡し了承を得てください。

2. 相手のプライバシーは他言してはいけません。(守秘義務)

活動上、知り得た情報(特にプライバシーに関する事)は絶対に漏らしてはいけません。

3. 相手の立場に立って考えましょう。

誰にでもこれまで過ごしてきた生活習慣や決まった一日の流れがあります。相手の生活のリズムや気持ちを第一に考えましょう。一方的なボランティアの押し売りは厳禁です。

4. 目上の人には「さん」づけで呼びましょう。

例えば、お年寄りに対して「おじいちゃん」「おばあちゃん」と呼ぶよりも目上の方に対する尊敬の念を忘れずに、原則的には「田中さん」など名字で呼ぶよう心がけてください。ただし、愛称で呼ばれている場合などもありますので、相手が不快にならないようケースバイケースで…。

5. 安全第一

ボランティアとして自分ができる範囲を考えて活動しましょう。無理をすることで大きな事故につながることもあります。もしもの場合に備えてボランティア活動保険に加入することをお勧めします。(登録者は加入済みです。)

6. 自分の意志ははっきりと

「いつ」「どこで」「何を」したいのか、ボランティア活動に対する意思をはっきりともち、伝えることが大切です。必ず活動先と事前に活動内容について確認し、充分納得したうえで活動してください。

7. あいさつは元気よく

活動先でのあいさつは笑顔とハッキリした声で。早く皆さんと仲良くなるよう心がけましょう。

8. 無理せず、自然に、楽しく

どうしても最初は無理をして自分の生活のリズムまで崩しがちですが、これは決して良い結果は得られません。マイペースで長く活動を続けていくことが理想です。

9. ボランティアに上下関係はありません。

「～してやってる。」「～してやったのにお礼の言葉もない。」などといった傲慢な考えや態度で活動してはいけません。ボランティア活動からはかけがえのない喜びや感動を得ることができます。相手から学ばせていただくという姿勢が大切です。

≪長崎県社会福祉協議会ホームページより≫

ご協力
ありがとうございました



9月21日(土)開催の「GOTOふれあいまつり2019」に当センター登録のボランティアさん方に露店やゲームコーナーなど各ブースでご協力いただきました。当日の天気は今一つでしたが、お陰様をもちまして、700名ほどの来場があり、赤い羽根共同募金へ106,872円の募金をすることができました。

ボランティア活動保険に加入しましょう！

ボランティア活動中の様々な事故によるケガや賠償責任を補償します。

詳しくは・・・ふくしの保険

(<http://www.fukushihoken.co.jp>)

ボランティア活動の申込・ご質問なら

「ボランティアセンターごとう」

(五島市社会福祉協議会内)

電話：74-5511 FAX：74-5666 (担当：片町)

E-mail：svc@goto-shakyo.or.jp